

中国語虚指二重目的語文の意味分析 On the Semantics of Chinese Dummy Direct Object Constructions

福田 翔
FUKUDA Sho

提要 在现代汉语中有一类“虚词双宾语句”：即间接宾语位置上为虚化的“ta”（汉字常常标记为“他”或“它”），直接宾语位置上为包括数量词在内的名词（短语）。一般认为，这种虚词双宾语句有一定的特点，如只在“非现实”(irrealis)的情况下使用，且与表示“给予”等典型的双宾语句有一定的关联性等。本研究着眼说话者和听话者参与的“行为要求”或语境含义等，将虚词双宾语句的意义方面进行考察。

キーワード：虚指二重目的語構文 行為要求 意志 発話場面の意味

目次

1. はじめに
2. 研究資料、虚指二重目的語文の特徴、研究方法
3. 意味分析：行為要求と動作主体の意志
4. 虚指二重目的語文の発話場面的意味
5. おわりに

1. はじめに

現代中国語の二重目的語文は、典型的な用法である「授与」や「言明」を表すものに加えて、「取得」を表す用法（“我吃了他一个苹果”）が発達していたり、仮性目的語を取るタイプ（“我骂了张三一顿”）があつたりと、英語や日本語等に比べると、二重目的語文で多様な意味を表すことができる。その中で、本研究が扱うのは、実質的意味を失い（虚化）、軽声で読まれる“ta”（漢字表記は“他”、“它”）を間接目的語に取り、数量詞を含む名詞（句）を直接目的語に取る二重目的語文である。本研究では、これを「虚指二重目的語文」と呼び、以下にその代表的な例をあげる。

- (1a) 睡他一会儿（朱德熙 1982:121）「ひと眠りしてやろう」
(1b) 玩儿他个痛快（朱德熙 1982:122）「思いっきり遊んでやろう」

これまでの研究では、虚指二重目的語文は、授与を表す典型的な二重目的語文からの拡張用法であるという観点で分析が進められてきた（中川（1973）、朱徳熙（1982）、馬庚株（1983）、小嶋（2009）等参照）。また、虚指二重目的語文は、「非現実」¹⁾（irrealis）を表す事態でのみ用いられるというムード特性についても指摘されており（伊藤1999、小嶋2009a、西2019等）、これは完了の動態接辞“了”と共に起できることから実証される。

（2）??昨天我玩儿了它个痛快。（小嶋2009:123(4)(=1')）

また、虚指二重目的語文の意味は、「話し手の意図あるいは命令を表す」（表示说话人的打算或表示祈使）（馬庚株1992:126）あるいは「話し手の強い意志を表す」（呂叔湘1992、小嶋2009b:122）等と規定されてきた。しかし、これらの意味記述については、まだ厳密に規定する余地が残されている。そこで、本研究の第一の目的は、虚指二重目的語文の意味について、詳細に記述、分析を行うこととする。さらに、虚指二重目的語文は「仮性目的語文」²⁾（“睡一会儿”）や「程度目的語文」（“玩儿个痛快”）の動詞と目的語の間に虚指の“ta”を挿入した形式であり、仮性/程度目的語文と客観的には同じ意味を表す。しかし、虚指二重目的語文は、仮性目的語文と程度目的語文に比べて、何らかの文脈的な含意が感じられるという点で両者は異なる。この点に着目して、本研究の第二の目的は、虚指二重目的語文の文脈的含意である発話場面的意味について明らかにすることである。つまり、本研究は虚指二重目的語文の意味記述をさらに進めることを目指すものである。

2. 研究資料、虚指二重目的語文の特徴、分析方法

本研究で扱う例文は、実例と作例からなり、実例に関しては《BCC语料庫》（以下、BCC）、および《中日对译语料庫》（以下、CJCS）の中国語原文の資料を用いて収集し、作例についての文法性判断の確認は、中国語母語話者3名³⁾の判断による。

虚指二重目的語文は、主語の人物に応じて、「命令」、「勧誘」、「意志」を表す⁴⁾。

（3a）你去睡它一觉！／你去玩它个痛快！（命令）

（3b）咱们睡它一觉！／咱们玩它个痛快！（勧誘）

（3c）我来睡它一觉。／我来玩它个痛快。（意志）

（3a）のように主語が二人称単数・複数（你／你们）になると命令を表し、（3b）のように一人称複数の包括形（咱们／我们）⁵⁾になると勧誘の意味となる。勧誘の意味は命令文の一種として扱われることもある（朱徳熙1982:204、張斌主编2010:894等参照）。さらに、（3c）のように主語が一人称単数（我）あるいは一人称複数の排除形（我们）となった場合、意志を表す。また、虚指二重目的語文は、基本的に仮性目的語文と程度目的語文における動詞と目的語の間に虚指の“ta”が挿入された形で構成される（仮性/程度目的語は朱徳熙（1982）参照）。

（4a）仮性目的語文：吃一碗・睡一觉・干一杯・看它一看・猜它一猜 等

（4b）程度目的語文：说个明白・玩儿个痛快・笑个不停 等

仮性/程度目的語文（〈V-仮性/程度 O〉）とそれに対応する虚指二重目的語文（〈Vta-仮性/程度 O〉）は、表現される出来事、つまり客観的な事実としては同じ意味を表す。しかし、仮性/程度目的語文はそれ以上特別な意味を持たない、普通の、自然な意味として受け止められるのに対して、虚指二重目的語文は何らかの文脈的な含意があるように感じられるという違いがある。つまり、これらは有標・無標の対立を成している表現であると言える。

- (5a) 我去睡一觉。(ひと眠りする) [仮性/程度目的語文] [無標]
(5b) 我去睡它一觉。(ひと眠りしてやろう) [虚指二重目的語文] [有標]

本研究の分析方法は、第一の目的である虚指二重目的語文の意味記述については、行為要求の表現と動作主体の意志の表現に分けて、その文法的諸特徴に着目して考察を行い、第二の目的である虚指二重目的語の文脈的含意については、適合する場面の設定および実例の分析を通じて明らかにする。

3. 意味分析：行為要求と動作主体の意志

これまで虚指二重目的語文の意味記述においては、「話し手の意図あるいは命令を表す」（馬庆株 1992:126）、「話し手の強い意志を表す」（呂叔湘 1992、小嶋 2009b:122）等と記述されてきた。そこで、この意味記述について、本節ではさらに踏み込んで考察を行う。まずは3.1-3.2節では「行為要求」の表現、3.3節では「意志」の表現について分析を行う。

3.1 行為要求：「話し手の強制力」、「聞き手の決定権」、「恩恵」

行為要求とは、「聞き手が行為を実現すること（または実現しないこと）を求めたり容認したりする機能」（高梨 2011:1）である。虚指二重目的語文の行為要求としての表現は、動作主体の人称の違いによって「命令」と「勧誘」に分けることができる。

- (6) 你去睡它一觉！／你去玩它个痛快！ (命令)
(7) 咱们睡它一觉！／咱们玩它个痛快！ (勧誘)

意味的な類似性から、「勧誘」は命令文の一種として扱われることもあるが（朱徳熙 1982:204、張斌主编 2010:894 等参照）、虚指二重目的語文は「命令」か「勧誘」かで、構成要素の付加の必要性が異なるため、ここでは「命令」と「勧誘」を区別することとする。

中国語母語話者の判断によると、虚指二重目的語文が〈Vta-仮性/程度 O〉という構造のみで表す意味は、「勧誘」の場合、自然であるが、聞き手に対してその行為を命じて、その実行を要求する「命令」の意味では若干座りが悪いという。

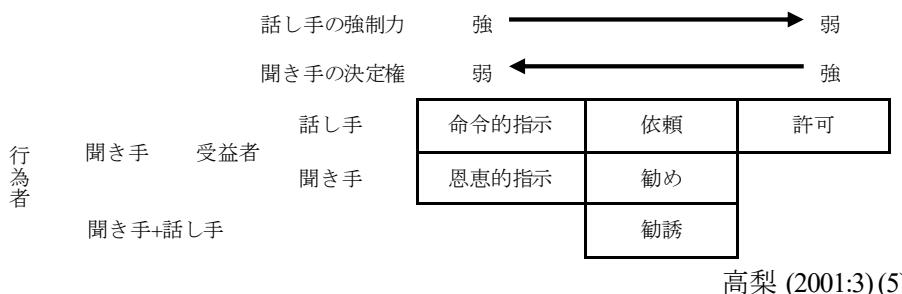
- (8) 「勧誘」：咱们睡它一觉！／咱们玩它个痛快！
(9a) 「命令」：??你睡它一觉！／??你玩它个痛快！
(9b) 「命令」：你去睡它一觉！／你去玩它个痛快！

つまり、(8) のように主語を一人称複数包括とする「勧誘」の意味の場合は、“睡它一觉”のみで文が安定するが、(9ab) から分かるように、主語を二人称とし、「命令」を表わそうとす

ると、“去・来”のような動作の趨勢を表す補助動詞的成分等を付加してはじめて、独立した文として自然であると感じられる。この現象から、虚指二重目的語文の構造それ自体が表す意味として最も適合するのが「勧誘」であると考えることができる。

では、「勧誘」の意味とはいいったい何なのか、その内実について、先行研究を参考にみていく。これまでの研究では、行為要求表現である命令、許可、勧誘等の意味範疇の違いについて、「話し手の強制力」と「聞き手の決定権」の強弱、ならびに話し手と聞き手のどちらが受益者となるかという観点で区別し得ることが指摘されてきた（仁田 1991、姫野 1997、高梨 2001 等参照）。

（図 1）高梨（2001）による行為要求を表す意味の関係性



（図 1）から、「命令」（高梨（2001）では「指示」）とは、行為を行うように要求する話し手の強制力が強く、その行為に対する聞き手の決定権が弱い状態であると言える。また、行為を行うことで恩恵を受ける対象が話し手なのか、それとも聞き手なのかで、「命令的指示」と「恩恵的指示」に分けられる。そして「勧誘」は、行為者が話し手と聞き手の両者となり、「命令」に比べて話し手の強制力が弱まり、聞き手の決定権が強まっている状態である。つまり、話し手の強制力と聞き手の決定権のどちらかが一方的に強いというわけではなく、両者が拮抗している状態である。

このように考えると、「勧誘」の意味を典型とする虚指二重目的語文は、「命令」に比べて、話し手の強制力が弱まり、聞き手の決定権が強まっている状態であると言える。また、行為者が聞き手のみとなっても、話し手の強制力と聞き手の決定権において「勧誘」と同等の意味範疇である「勧め」と「依頼」がある。後の例で確認するが、聞き手が行為者となる虚指二重目的語文では、恩恵を受ける受益者は必ず行為者となるため、その意味は「依頼」ではなく「勧め」となる。次の例からも分かるように、「勧め」の意味を表す虚指二重目的語文は、「勧誘」と同様に、動作の趨勢を表す補助動詞的成分や要求・願望の助動詞等の付加がなくても、それだけで文として安定する。

(10a) 啊，驾驶员同志，你是够劳累的了，快洗脸、吃饭，美美地睡它一觉吧。（BCC）「運転手さん、とても疲れているでしょう。早く顔を洗って、ご飯を食べて、思う存分眠ってやれ。」

(10b) “不，我精神不好，想休息。”“好吧！回家睡它一觉。…” (BCC) 「『いや、私は元気がなく、休憩したい。』『いいよ！家に帰ってひと眠りしてやれ。』」

(10c) “你可以走，出去，走它个三天三夜！”“为什么出去，这是我的家，我喜欢在哪儿走就在哪儿走…”。(BCC) 「『あなたは行ってもいいよ。行きなさい。三日三晩出て行ってやりなさい』『どうして出て行かなきゃいけないの？ここは私の家です。好きな時に好きな場所に行きます…。』」

これらの例では、恩恵を受ける受益者は、必ず行為者となるという特徴がある。たとえば、(10a) を例にとると、聞き手であり、行為主体である運転手に対して、「思う存分眠ってやれ」と勧めている状況であり、その行為は聞き手の利益のために発せられたものであると言える。

このように、他の要素が付加されなくても成立する虚指二重目的語文の意味である「勧誘」(動作主体が一人称複数) と「勧め」(動作主体が二人称) の意味について、恩恵を受ける受益者が行為者となるという共通性から、本研究では両者をあわせて「提案」^⑩と名付けることとする。

3.2 命令文のタイプから見た虚指二重目的語文

3.1節の議論をまとめると、典型的な虚指二重目的語文は、「提案」(先行研究では、主語が一人称複数の包括形では「勧誘」、主語が二人称では「勧め」) という意味範疇を表す。その特徴は「命令」に比べて話し手の強制力が弱まり聞き手の決定権が強まる、つまり、話し手の強制力と聞き手の決定権のどちらかが一方的に強いという状態ではない。

本節では、このような虚指二重目的語文の特徴について、中国語の命令文のタイプとその文法的特徴を照らし合わせて考察を行う。また、虚指二重目的語文と客観的に同じ意味を表す仮性/程度目的語文も加えて分析することで、虚指二重目的語文の意味特徴を明らかにする。

まず、命令文は、基本的に動作・行為を表す動詞(または動詞句)が用いられ、その動詞(句)はコントロール可能な出来事であると言える(朱徳熙 1982、袁毓林 1999、劉月华他 2001、Li & Thompson 1981 等参照)。つまり、動作主体にコントロール性が認められれば、「冷静」(11c) のような形容詞や(11d) のような非意志動詞の否定も命令文として成立し得る。また、(11e) のように、名詞であっても、その裏に動詞が省略されているというニュアンスがあれば、命令文として成立する。つまり、命令文を形成するということは、「動作性」が高い状態であると言える。

(11a) 吃！ (Li & Thompson 1981:451) 「食べろ！」

(11b) (你) 把窗户关上！ (朱徳熙 1982:205) 「窓を閉めろ！」

(11c) 冷静点儿！ (劉月华他 2001:810) 「ちょっと静かに！」

(11d) 别落(东西)！ (袁毓林 1999:89) 「(物を) 落とすな！」

(11e) 票！ (張斌 2010:252) 「チケット！」

また、中国語の命令文の研究では、肯定命令と否定命令の分布によって、3つの意味が規定されている（袁毓林 1999:77-80）。これは、否定命令を表す“別”と共に起できるか否かという観点で分類される。“別”と共に起できず肯定命令のみを持つタイプは「肯定的な感情」を表すのに対して、反対に肯定形式を持たず“別”と共に起し否定命令のみを持つタイプは「否定的な感情」を表すとされる。そして、肯定命令にも否定命令にもなるタイプを「中立的」として規定している（袁毓林 1999:77-80）⁷⁾。

(表1) 命令文のタイプ: 肯定命令と否定命令の成立より

「肯定命令形式」	「否定命令形式」	意味記述 (袁毓林 1999)
(12a) 要尊重别人! ⁸⁾ (他人を敬え!)	*别尊重别人! (*他人を敬うな!)	肯定的
(12b) *打扰他们! (*彼らの邪魔をしろ!)	别打扰他们! (彼らの邪魔をするな!)	否定的
(12c) 找他去! (彼を探しに行け!)	别找他去! (彼を探しに行くな!)	中立的

(中国語の例文および意味記述は袁毓林 1999:79 による)

この肯定命令、否定命令という観点で、虚指二重目的語文の用例を観察すると、虚指二重目的語文は肯定命令では成立するが（“你去睡它一觉！”）、(13ab) のように否定命令では成立しない。つまり、虚指二重目的語文は、「肯定的」な意味を表すと言える。

また、仮性/程度目的語文でも肯定命令では成立するが（“你去睡一觉！”）、(14ab) のように“別”とは共起しないことから、虚指二重目的語文と同様、「肯定的」な意味を表すと言える。

- (14) a. *别睡一觉! b. *别玩个痛快!

虚指二重目的語文と仮性/程度目的語文において、「肯定的」であるというのは、両構文に共通する意味であり、単独の述語動詞の意味に帰すべきものではない。なぜなら、“睡（覚）”や“玩兒”という動詞は肯定命令と否定命令の両方で成立するからである。

- (15a) 马民懒懒地说, “你睡觉。” (BCC) 「馬民はもの憂げに言った。『眠りなさい。』」

- (15b) 你闲也就算了, 你别睡觉啊; (BCC) 「暇でもやめておけ、眠っちゃダメだよ。」

- (16a) 我走了, 你玩儿吧。(BCC) 「私は行くけど、あなたは遊んでいなさい。」

- (16b) “别玩儿啦，好好学习吧。”(BCC) 『遊んでちゃだめ、しっかり勉強しなさい。』

次に、丁寧命令形 (polite imperative form) “请” (どうぞ～してください) との共起関係という観点から命令文を観察する。丁寧な命令の意味を表す “请” は、真に直接的な命令 (true direct command) とは共起するが、非直接的、つまり間接的な命令 (indirect command) とは共起しないという制限がある (Li & Thompson 1989:457)。

(17a) 请你别生气。 (Li & Thompson 1989:457(32))

(17b)*请你不用告他。 (Li & Thompson 1989:457(33))

(17c)*请你不必着急。 (Li & Thompson 1989:457(34))

“別”は本来の命令的意味 (inherent imperative meaning) があり、直接的な命令 (true direct commands) を表すため、“请”と共に起すことができるが、“不必/不用”は非直接的な命令 (間接的命令) であり、動作性が高くないため、“请”とは共起することができない。

そこで“请”との共起について、「肯定的」な事態を表す命令文で観察すると、次の例のように、共起可能である。

(18) 请你尊重别人！／请你树立信心！

この現象より、事態の「肯定的」という意味特徴が、“请”との共起を妨げるものではないことが分かる。それに対して、虚指二重目的語文は「肯定的」な事態を表すが、次の例から分かるように、“请”を付加することができない。よって、間接的な命令を表すと言える。

(19) *请你睡它一觉！／请你玩儿它个痛快！／请你干它一杯！／请你看它一看！

では、仮性/程度目的語文と“请”との共起についてはどうか。仮性/程度目的語文の場合は、(20ab) のように動詞の意志性が低い例では許容度が落ちるが、(21ab) のように動詞の意志性が高い場合には成立する。

(20a)?请你睡一觉！ (20b)?请你玩儿个痛快！

(21a) 朋友啊！请你干一杯！ (BCC) (21b) 请你看一看。 (BCC)

つまり、仮性/程度目的語文に関しては、動詞によって“请”との共起の有無が変わることから、構文的意味としての制限がないということが分かる。本節の議論をまとめると、次の表のようになる。

(表2) 「命令」のタイプから見た仮性/程度目的語文と虚指二重目的語文

仮性/程度目的語文	虚指二重目的語文
“別”の共起	共起しない：[肯定的]
“请”の共起	共起制限なし：直接的命令

ここから虚指二重目的語文の特徴について分析すると、「肯定的」な事態を表すのは、「行為者が恩恵を受ける受益者になる」ということと関連していると思われる。また、間接的な命令については、「命令」に比べて話し手の強制力が弱まり、聞き手の決定権が強まる、「提案」の意味と密接に関連しており、虚指二重目的語文が表す意味の特徴が裏付けられる。

3.3 意志の表現

虚指二重目的語文は、平叙文では主語に一人称を取り、「意志」の表現となる。この「意志」の表現は、非現実事態を希求するという点では、行為要求の意味と共通している。先行研究では、この虚指二重目的語文の「意志」の表現について、「強い意志を表す」と分析されてき

た。しかし、この場合も、行為要求における「提案」と同様に、補助動詞である“来・去”や助動詞“要”等を附加して文が安定するのであって、本質的には先行研究にある「強い」という記述は、補助動詞的成分や助動詞からもたらされると考える方が自然である。

(22a) 我来睡它一觉。／我来玩它个痛快。「ひと眠りしてやろう（ひと眠りしなければ）。

／思いっきり遊んでやろう（思いっきり遊んでやらなければ。」

(22b) “我累得好像被炸弹炸过，叫水手往回驶，我要好好睡它一觉。”（BBC）「私は爆弾が破裂したように疲れたので、船員に帰航してもらって、ひと眠りしてやろう。」ここから、虚指二重目的語文自体が表す本来的な意味は、「～してやろう」、「～しなければ」という「実現への期待」という程度の意味として捉えられよう。

もう一点、先行研究では、虚指二重目的語文は願望の助動詞“想”とは共起しにくいのに対し、強い意志を表す“(一定) 要”とは非常に結びつきやすいことが指摘されてきた。

(23a) 今天我一定要好好儿玩它个痛快！（小嶋 2009:122）(1)（二重下線は筆者による）

(23b)?今天我想好好儿玩它个痛快！（小嶋 2009:124）(6)（同上）

確かに、虚指二重目的語文は助動詞“要”と共に起する例が多く見られ、意味的には強い意志を表す表現との相性が良いと考えられる。しかし、実例を見ると、虚指二重目的語文が“想”と共に起する例も見られる。これは、動作主体の意志が強いということが文脈によって読み込まれる際に、成立すると考えられる。

(24a) 最近这两天累的像狗一样，真想好好的睡它一觉，…。（BBC）「最近ここ二日、まるで犬のように疲れていて、本当にひと眠りしてやりたい。…。」

(24b) 开心地想好好玩它个三天三夜，庆祝自己终于解脱了！（BBC）「楽しく思いっきり三日三晩遊んでやりたい、やっと抜け出せたんだから！」

4. 虚指二重目的語文の発話場面的意味

最後に、仮性/程度目的語文（“睡一觉”、“玩个痛快”）と比べて意味的に有標と感じられる虚指二重目的語文の発話場面的な意味の含意について考察する。

(25) 我得好好儿睡它一觉！「思いっきり眠ってやろう！」

(26) 你去玩它个痛快！「思いっきり遊んでやれ！」

(25)、(26)の例文は、何らかの文脈的な含意が感じられる。たとえば「論文を書いていて数日間徹夜で寝ていないが、それがやっと終わった」あるいは「大切な試験が終わった」等である。つまり、「動作主体はその事態を実施できる状況ではなかったが、やっとあることを乗り越えてその事態を実施することができる状態になった」ということを表していると言えよう。以下、実例を用いてさらに考察する。

(27) 窝囊废见到他们，眼泪汪汪。他以为他们都给炸死了。他的脸色黄中带灰，满布皱纹，眼睛里全是血丝。“您好象一宿没睡，”宝庆说，“好大哥，怎么不歇歇？”“担着

这么大的心,我怎么睡?”窝囊废没好气。他扶着秀莲的肩头,孩子般热诚地说:“去睡一会儿,孩子,好好睡它一觉。等明儿醒了,上温泉去洗个澡。那才够意思呢!”

(BBC) 「意気地なし (人のあだ名) は、彼らを見つけて、涙があふれた。意気地なしは彼らが皆爆死したと思っていた。意気地なしの顔は黄色く灰色がかつており、しわだらけで、目が充血している。『お前さん、一晩寝てないようだね。』と宝慶は言った。そして、『どうして休まないんだ?』と聞かれると、『こんなにも心配事があるって、どうして寝ていられようか?』と意気地なしはぶすっとした。彼 (意気地なし) は秀蓮の肩を抱いて、子供っぽく熱心に言った:『少し眠ろう。ぐっすり寝てやろう。明日目が覚めたら、温泉に行って風呂に入れば、いいんだよ!』

- (28) 孟樵笑道:“真的,我还没为你伴奏过,记得吗?是你让我又想弹吉他了,”“好,好!”夏启东兴奋不已。“什么时候?”想起他大后天一早就要走了,孟樵一阵心酸,却不露声色 地浅笑道:“后天晚上。我们今天玩它个痛快,晚上去找阿得,明天准备,后天晚上开唱,……”(BBC) 「孟樵は笑って言った:『本当だよ!君のためにまだ伴奏したことないけど、覚えてる?君が私にもう一度ギターを弾きたいと思わせてくれたんだよ。』『いいねいいね!』と夏啓東は興奮してやまない。そして、『いつ?』と尋ねると、(孟樵は) 彼 (夏啓東) がしあさっての朝早くに出発しなければならないことを思い出して、ちょっとの間悲しみがこみ上げ、声と表情には出さず微笑んで言った:『明後日の夜にしよう! 今日は思いっきり遊んで、夜に阿得を訪ねて、明日準備して、明後日の夜に演奏して、…。』

(27) の例では、「意気地なし」(人のあだ名) は彼らが皆爆死したのではないかと心配して、一睡もできていない。しかし、彼らと無事再会できたことで、「ぐっすり寝てやろう」ということを提案している場面である。また、(28) は、やるべきことを明日か明後日に伸ばすことにして、「今日 (だけ) は思いっきり遊んでやろう」という意味を表している。つまり、これらの例から、虚指二重目的語文が表す発話場面的意味とは、「動作主体がその事態を実施できる状況ではない (なかつた) が、あることを乗り越えて、その事態を実施することができる (実施することを促す)」という発話場面的な意味があると言える。さらに、以下の“闹它个天翻地覆”、“哭它一个够”的例も同様に考えられる。

- (29) 卢宝桑见路喜纯消失了,忽然又蛮横起来。他想我反正左右不是人儿了,干脆闹它个天翻地覆,…。「盧宝桑は路喜純が姿を消したので、急にまた横暴になった。どうせ俺はもうかたなしだ。いつそのこと思い切り暴れてやろうか、…。」(CJCS)

- (30) 我突然想哭!抱着环环躲到一个没有人的地方去哭它一个够!但是我一点力气也没有, …。「おれは、不意に泣きたくなつた。環環を抱いて、だれもいないところへ逃げていって、思いきり泣きたい!だが、おれにはまるで力がなかつた。」(CJCS)

(29) では、通常「暴れる」という行為は、倫理的にも道徳的にも行うべきではないが、自分自身が本来のあるべき自分ではなくなっている（「かたなし」である）ことから、自暴自棄になり、「思いつきり暴れてやろうか」という気持ちになっている。(30) では、普通は人前では泣かないが、我慢できなくなり「思いつきり泣いてやろうか」という気持ちを表している。

5. おわりに

本研究では、これまで記述が不十分であった虚指二重目的語文の意味ならびに発話場面的意味を明らかにした。結論を以下に簡潔にまとめる。

虚指二重目的語文の典型的な意味（〈V-ta-仮性/程度 O〉の構成要素のみで表す意味）は「提案」（先行研究では、主語が一人称複数の包括形では「勧誘」、主語が二人称では「勧め」）として規定でき、その特徴は「命令」に比べて、話し手の強制力が弱まり聞き手の決定権が強まっている状態にある。これは、虚指二重目的語文が丁寧命令形“请”と共に起しない間接的な命令を表すということからも裏付けられる。また、恩恵を受ける受益者は必ず行為者となり、これは否定命令では成立しない「肯定的」な事態を表すという虚指二重目的語文の特徴に関連している。また、虚指二重目的語文は仮性/程度目的語文と比較すると何らかの文脈的な含意が感じられるという点から、「動作主体がその事態を実施できる状況ではない（なかった）が、あることを乗り越えて、その事態を実施することができる（実施することを促す）」という発話場面的な意味が虚指二重目的語にはあることについて、実例を交えて指摘した。

注

- 1) 本研究でいうところの「非現実」とは、Whaley (1997) の指摘による、「起こらなかつた事態、或いはまだ現実になつてない事態」のことを指すムード特性であると定義する。また、詳細は2節で論じるが、非現実的事態を表す虚指二重目的語文は、主語の人称領域に応じて「命令、願望、意志」と意味が変化する。
- 2) 仮性目的語（“准宾语”）には、動量目的語（“动量宾语”）、時量目的語（“时量宾语”）、数量目的語（“数量宾语”）という三種類の目的語が含まれる（朱徳熙 1982:116）。
- 3) 3名の母語話者とは、泉州出身30代女性、蘇州出身30代女性、延辺出身30代男性である。
- 4) 非現実の事態が、主語の人称領域に応じて意味が変わる例として、日本語の古代語「未然形+ム」の用法がある（尾上2001:426）。また、Whaley (1997) でも、叙想法、祈願法、命令法は概念上異なるカテゴリーではあるが、非現実のムードという点では共通しており、形態的に同じ形で表す言語があることが指摘されている。つまり、非現実的事態を表す虚指二重目的語文で、命令、願望、意志の意味が現れるのは、通言語的に見ると特異な例ではないと言える。
- 5) “我们”は本来聞き手を含まない“排除式”（排除形）であるが、現在では聞き手を含む“包括式”（包括形）でも用いられるため、命令文の主語となる可能性もある（朱徳熙 1982:204）。

- 6) 「提案」という意味範疇の規定については、匿名の査読者の指摘によるものである。しかし、内容についての一切の責任は著者にある。
- 7) 袁毓林(1999:79)では、命令文の意味記述において、肯定命令のみで成立するタイプを [+褒義] (ほめたたえる)、否定命令のみで成立するタイプを [+貶義] (見くびる)とした。しかし、“表扬”(ほめる)のように、意味的には [+褒義] となりそうである動詞でも、実際には肯定命令 (“要表扬他!”) 「彼をほめなさい！」) と否定命令 (“別表扬他!”) 「彼をほめるな！」) の両方で成立する(この言語現象の指摘は、匿名の査読者によるものである)。そこで、本研究では、 [+褒義] および [+貶義] という意味素性は採用しないこととした。
- 8) 肯定命令を表す “要尊重别人!” も助動詞 “要” が付加されており、これがないと文として落ち着かないという点で、虚指二重目的語文と共通している。

参考文献

- 伊藤さとみ(1999)「虚指の「他」」,『中国語学』246:8-78.
- 尾上圭介(2001)『文法と意味I』くろしお出版
- 小嶋美由紀(2009)「拡張的二重目的語構文“玩儿他个痛快” の成立動機とメカニズム」『中国語学』256:122-140.
- 杉村博文(2011)「中国語授与のシンタクス」『大阪外国語大学論集』35:65-96頁.
- 高梨信乃(2011)「行為要求について—日本語教育における問題—」『神戸大学留学生センター紀要』17:1-17.
- 中川正之(1973)「二重目的語文の直接目的語における数量限定語について」『中国語学』218:19-22.
- 西香織(2019)『中国語の三人称代名詞“它”に関する研究』日中言語文化出版社
- 呂叔湘(1992)〈理论研究和用法研究〉, 中国語文杂志社编《语法研究和探索(六)》:1-3, 北京:语文出版社
- 马庆株(1992)〈现代汉语的双宾语构造〉《汉语动词和动词性结构》:102-132.北京:北京语言学院出版社(原载《语言学论丛》第十辑, 商务印书馆, 1983)
- 袁毓林(1993)《现代汉语祈使句研究》北京:北京大学出版社
- 张斌(2010)《现代汉语描写语法》北京:商务印书馆.
- 张伯江(1999)〈现代汉语的双及物结构式〉《中国语文》第3期: 174-184.
- 张美兰(2014)《汉语双宾语结构:句法及其语义的历史研究》北京:清华大学出版社.
- 朱德熙(1982)《语法讲义》北京:商务印书馆.
- Li, C. N., and Thompson, S. A. 1989. *Mandarin Chinese: A functional reference grammar*. London and New York: University of California Press.
- Whaley, Lindsay. 1997. *Introduction to Typology: The unity and diversity of language*. London: Sage Publications, Inc.